



発行所 館民 飯田市電集 龍共印刷株式会社 上郷町黒田22-5353

人口統計表: 6,427人 (男子3,111人, 女子3,316人) 世帯数 1,828戸 (平成4年5月31日現在)

心豊かな地域づくりを目指して

平成4年度委員総会



今年も10月10日の市民運動会

委員総会において決定された、四つの委員会の今年度事業計画は次の通り。
【文化委員会】
・人形劇カーニバル92飯田 (八月六日〜九日)
・敬老会 (九月十五日)
・文化祭 (十一月十四日〜十五日)
・新成人祝賀式 (二月二十五日)
・新春放談会 (一月二十四日)
・第十四回竜丘市民大講堂 (一月下旬〜二月中旬)

平成4年度の竜丘公民館委員総会が、去る五月十一日竜丘公民館において開かれた。地域文化の振興や地域福祉の向上、及び市民一人ひとりが心豊かに生きるための生涯学習の手助けをするという、公民館の役割を新たに認識し、事業計画が決定された。

【体育委員会】
・分館交流ソフトボール (五月二十四日雨天中止)
・常会交流ソフトボール (七月十二日)
・常会交流男女混合バレーボール (九月十三日)
・市民運動会 (十月十日)
・常会交流網引き (二月七日)
【広報委員会】
・館報発行 (年五回)
・委員研修会 (随時)
【民俗資料保存委員会】

古くて新しい生涯学習のあり方が模索される中、竜丘公民館各委員会では、「心の豊かな地域づくりを目指して」多くの人々や自然との交流を通してのキャッチフレーズのもと、新年度の発足をしました。委員総会で決定された、四つの委員会の事業計画は前述の通りである。ここでは、本年度竜丘公民館の課題と重点事業について述べたいと思います。

今日、国際交流化社会の中において、世界が日本に求め、日本人自身もまた改革していくという気運の見えるものは、物や金のいわゆる経済優先から「心の豊かさ」を、という考え方の見直しをしなければならぬという事ではないでしょうか。
地区住民の自治能力を高めるための地域づくり活動が求められている今日、具体的課題に取り組むため、次のように重点事業を計画しました。

【学級講座】
・先進地研修視察
・市民セミナー・人形劇サークル育成事業・婦人団体連絡協議会・婦人の地域参画、高齢者の生き甲斐づくり・公民館活動史編纂事業・委員研修 (十一月二十一日〜二十二日)

【学級講座】
・市民セミナー・人形劇サークル育成事業・婦人団体連絡協議会・婦人の地域参画、高齢者の生き甲斐づくり・公民館活動史編纂事業・委員研修 (十一月二十一日〜二十二日)

平成4年度竜丘公民館発足に当り
古くて新しい生涯学習のあり方が模索される中、竜丘公民館各委員会では、「心の豊かな地域づくりを目指して」多くの人々や自然との交流を通してのキャッチフレーズのもと、新年度の発足をしました。委員総会で決定された、四つの委員会の事業計画は前述の通りである。ここでは、本年度竜丘公民館の課題と重点事業について述べたいと思います。

女性消防団員奮闘中
消防団と言えれば男性ばかりといったイメージですが、今年四月より飯田市消防団に、五十余名の女性消防団員が誕生しました。当地区竜丘では、小沢和代さん(駄科)岡村香代さん(桐林)の二人が、女性消防団員一期生として、頑張っておられます。数年前より第六次消防整備計画の一環として検討されてきた、女性団員の採用の大きな目的に、消防団の活性化があげられます。年々団員の確保が、難し

「古墳の里」これから
下平 隆 司
「竜丘の古墳群は地域固有の素材であり、竜丘を象徴する貴重な遺産である」。古墳を考える会はこの貴重な古墳の保存と活用を訴えている。昨年年度展開しています。昨年度は、現存古墳の調査をはじめ古墳や出土品の見学習、古墳所有者との懇談会、古墳公園構想の検討、案内板等設置の検討などに取り組んできました。また、古墳の保存と活用を市政懇談会において、理事者に訴えました。塚原古墳群につ

「古墳の里」これから
下平 隆 司
「竜丘の古墳群は地域固有の素材であり、竜丘を象徴する貴重な遺産である」。古墳を考える会はこの貴重な古墳の保存と活用を訴えている。昨年年度展開しています。昨年度は、現存古墳の調査をはじめ古墳や出土品の見学習、古墳所有者との懇談会、古墳公園構想の検討、案内板等設置の検討などに取り組んできました。また、古墳の保存と活用を市政懇談会において、理事者に訴えました。塚原古墳群につ

ホタルを追って
竜丘地区の虫に学ぶ講座(今村周己運営委員長)は、六月一日より竜丘に生息しているホタルの調査を始めました。この調査は毎晩七時三十分から一時間にわたり、調査員がゲンジブ・ヘイケ別に直接観察調査、聞き取り調査の両面から行われ、地域

人事
岡田支所長
新任 岡田昌伸 (地場産業センターより)
新任 鋤柄武司 (福祉事務所社会課へ)
退任 清水秀敏 (総務部税務課より)
退任 仲田好寿 (建設部管理課へ)

「目」に青葉、山ほととぎす、初がつお」初夏の頃にぴったりの、自然の情感あふれる句ですが、「自然と言えば今ブラジルで」「国連環境開発会議」いわゆる地球サミットが開かれています。現在深刻な問題となっている地球規模の環境破壊を抑止する為、世界百五十ヶ国の代表が参加し様々な討議がなされているが、これまでのサミットの中でも最も行方が見えないとされている。果たしてこのサミット、本当に自然環境の保護につながるのだろうか? 確かに「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言」など具体的な決定がなされると思うが、実際先進国と発展途上国との格差は大きく、自国の利を追求する形となる事が予想される。いかに我々が自然保護と叫んでも、本当に大自然を相手に焼畑農業などで生きぬいている者にとっては、こんな会議より明日の食事の方が大切である。結果として資金援助などで接点を求めるであろうが、これも又危険な要素を秘めている。環境税の導入、又も税金かとひと騒ぎある事と思われるが、本当に恐いのは「自分はお金を払っているから」という気持ちが生まれる事である。とにかく、金さえ払えば、というのはよく有りがちで、環境保護の意識は逆にうすれていく結果となるだろう。自然保護の第一歩とは、自然を美しいと感じる「心のゆとり」を皆が持つ事ではないか。地球温暖化、海洋汚染など急ぐ気持ちは解かるが「急がばまわれ」である。

「目」に青葉、山ほととぎす、初がつお」初夏の頃にぴったりの、自然の情感あふれる句ですが、「自然と言えば今ブラジルで」「国連環境開発会議」いわゆる地球サミットが開かれています。現在深刻な問題となっている地球規模の環境破壊を抑止する為、世界百五十ヶ国の代表が参加し様々な討議がなされているが、これまでのサミットの中でも最も行方が見えないとされている。果たしてこのサミット、本当に自然環境の保護につながるのだろうか? 確かに「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言」など具体的な決定がなされると思うが、実際先進国と発展途上国との格差は大きく、自国の利を追求する形となる事が予想される。いかに我々が自然保護と叫んでも、本当に大自然を相手に焼畑農業などで生きぬいている者にとっては、こんな会議より明日の食事の方が大切である。結果として資金援助などで接点を求めるであろうが、これも又危険な要素を秘めている。環境税の導入、又も税金かとひと騒ぎある事と思われるが、本当に恐いのは「自分はお金を払っているから」という気持ちが生まれる事である。とにかく、金さえ払えば、というのはよく有りがちで、環境保護の意識は逆にうすれていく結果となるだろう。自然保護の第一歩とは、自然を美しいと感じる「心のゆとり」を皆が持つ事ではないか。地球温暖化、海洋汚染など急ぐ気持ちは解かるが「急がばまわれ」である。

私達の竜丘

自然と私達の遊び場を

五年 伊東 あかね



私は五年生で十歳です。むずかしいことは、わかりませんが、今私がいつも思っていることを書いてみます。私は今、駄科のお家に住んでいます。私の家の付近は、このごろ次々と新しい家やアパートが建てられています。私がいつも思うことは、竜丘は山があって、丘があって、川があって、田んぼや畑や森があって、それだから、よい所だと思っていました。このごろは、このよい所がだんだんなくなっています。一つも家を建ててはいけないというのではなく、山や森や川や公園などちゃんとあって、大人になるまで残しておいてほしいです。私は遊ぶ所がありません。おやく



竜丘のみらい

三年 木下 美和子

わたしの、竜丘のみらいは、広いし、ふのキャンパスや、大きくてきれいな学校ができれば、楽しくなると思います。あと、近くに海があったらいいなと思っています。それから、今の竜丘には、大きな病院がな

使用できる不要品の集積所などを設置できれば不要品が生かされる機会も多くなるのではないのでしょうか。地域の美化に対する取り組みはここに住む私達の生活環境を守ってゆくうえで大きな役割を持っています。もう一歩ふみ込んで考えた時、様々な形は変えていってもそれはすべて私達の住む地球からの産物であり貴重

ゴミは貴重な資源です



たくさん拾いましたね！

私達が生活してゆくうえで、ゴミ、不要となったものをださないわけにはゆきません。飯田市のゴミ処理量は年間一万八千トン以上にもなりその中でも資源ゴミは一割弱とリサイクルされるゴミの量はわずかなものです。

私達が日頃利用しているゴミ集積場はこの竜丘地区には四十五ヶ所ありゴミの収集日に集められています。それぞれに分別して集積場に持ち込む事にはなっていないもそれがなかなか守られず各集積場所に対応に苦慮している様です。持ち込

私達の生活はゴミ、不要品であふれています。道路わきに捨てられている空き缶を見て貴重な地球の資源が捨てられていると見る人は少ないでしょう。先日五三〇運動が行なわれ、多くのゴミ空き缶が回収されました。ゴミは貴重な資源です。

先日五月三十一日に行なわれた530(ゴミゼロ)運動でも相変わらず投げ捨てられている空き缶が多いようでした。投げ捨てる時他人が見ている所ではおそらく投げないでしょう。車の通りが少ない場所、時にまとめて家庭内の不要品が捨てられたりする様です。ゴミと不要品の区別が今は無くなって来ています。まだ使えるような家庭用品など集積所に置かれているのを見かける事も多い様です。不要品の交換会やバザーなども開かれてはいる様ですが転動で引越しの頃などは特に不要品も出るようです。

清流を大切に

マス釣り大会

去る四月十九日、時又の新川にて、漁業協同組合竜丘支部主催の釣り大会が行われました。

この釣り大会はかねてから開催しようという声はあったものの実現されず、今回が初めての開催となりました。

この大会は、河川の汚れについて意識を持ってもらうこと、子供も遊べるようにな川にしたい、といった趣

松くい虫から緑を守れ！



燻蒸処理される被害木

去る、六月八日竜丘公民館において、「竜丘地区の松を守る会」の設立総会が開催されました。

竜丘地区では、平成三年度の松くい虫による被害は四千七百四十五本、二千六百七十五立米と全市の五十

三・五パーセントを占め、前年に対し十倍と被害件数が激増しています。このため、市林務課の肝入りで、各地区に設立が呼び掛けられ、竜丘では自治会を中心準備が進められ、自治会役員、財産区議員、森林組合理事、山林所有者代表が委員となり設立の運びとなりました。

父親が大切 健全育成

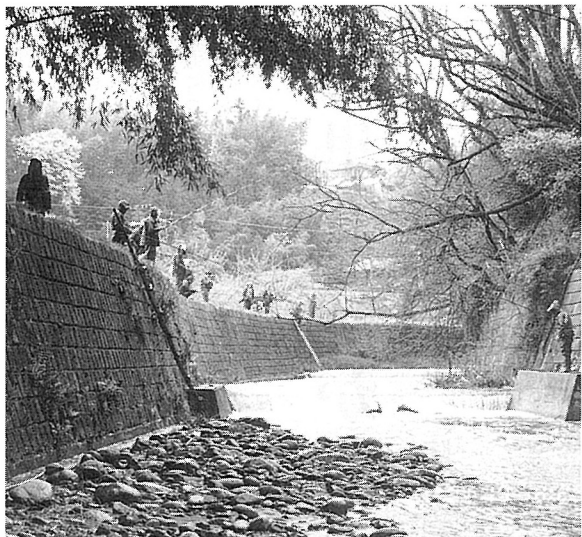
竜丘駐在 青木 保氏

日に日に川の汚れが深刻になる中で、家庭の雑排水についてももっと関心を持つてもらい、清流にしか住めないような魚がもっと増えて、子供が気楽に遊べるような川に皆でしてゆきたいものです。

青少年が、健全に育ち、非行のない明るい社会となることは、人々の願いです。少年の非行を防止し、健全に育成していく為には、住民皆が力を合わせて取り組んでいくことが大切です。本年一月から、警察に補導された竜丘地区の少年は、四名であり、昨年より一名の増加です。補導された内容は、万引が一番多く次に乗物盗です。年齢では、中学生、高校生です。これから、夏休みなど長い休みを控え、又、学校が九月から五日制になるようです。家庭での躾が、今以上に大切になってきます。

特に、父親の家庭での子供とのふれあいが、重要になってきます。今までは、子供の躾や教育は、母親任せではなかったですか？。ことわざに、「父、父たれば、子も子たり。」父が父としての務めを果たせば、子もまた子としてすべきことをする、という意味です。

もう一度家庭での躾について考え、子供の自主制を大切にして、善悪の区別をしっかりと教え、明るく、だんらんのある家庭をつくり、非行から守りましょう。子供は、未来への夢であり希望です。地域ぐるみで育てましょう。



雨でも釣れてマス。